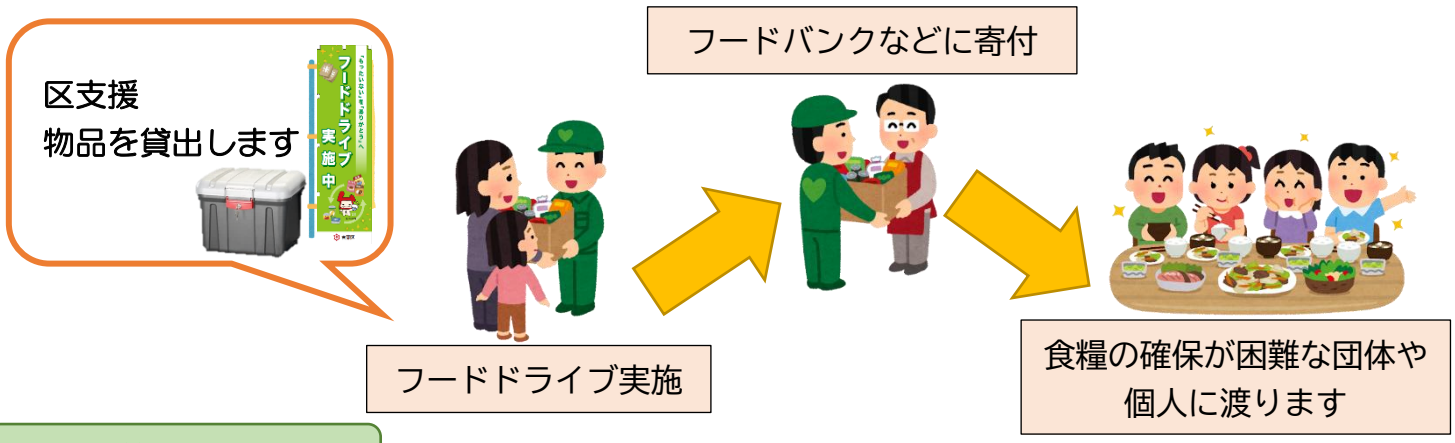
『もったいない』を『おいしい』へ

フードドライブ実施マニュアル

フードドライブとは

家庭で消費できない食品を持ち寄り、食糧の確保が困難な団体や個人に提供するための活動



実　施　手　順

①　事前準備・・・計画を立てる（実施日時、場所、提供先など）

- 提供先（福祉施設やフードバンク※など）を決め、食品の受入条件・引き渡し日や運搬方法について相談しておく。
- フードドライブの実施期間、場所を決める。
- フードドライブの実施を周知する（実施日時・場所・受入条件等）。

※フードバンクとは
家庭などで余った食品や、食品の製造工程で発生する規格外品等を引き取り、福祉施設等へ無料で提供する団体・活動のこと。

②　実施準備・・・必要な物品を用意する

- 食品を入れるコンテナ、案内表示、のぼり旗、はかり、電卓など

≪台東区では、食品回収用コンテナ、フードドライブのぼり旗、卓上ミニのぼり旗を無償で貸出しています。≫

鍵付きコンテナ

のぼり旗
W450×H1500mm
卓上のぼり旗
W100×H280mm

申し込みはこちらから

③　実施

- 食品の受け入れ時、期限切れ、対象外のものではないか確認。
- 実績の記録と食品の引渡しのため、集まった食品の点数や重量を計ったり、食品全体の写真を撮ったりしておくことをお勧めします。

④　実施後

- 回収食品を福祉施設やフードバンクなどに引き渡す。

≪区から物品の貸出を受けた方は、実施後1週間以内に物品の返却報告書を添えて、貸出物品を返却する。≫

回収できる食品と回収できない食品は、提供先によって違います。

必ず、事前に確認してからフードドライブを実施してください。

≪参考≫ よくある「回収できない食品」の例

フードドライブで回収する食品の受入条件は、提供先と調整の上決定しますが、よくある回収できない食品の例は以下のとおりです。

回収できない食品	回収できない理由
生鮮食品（生肉、魚介類、生野菜など）	フードドライブ実施団体や提供先に冷蔵庫・冷凍庫がない場合、**腐敗の恐れ**があるため
冷蔵食品、冷凍食品など温度管理が必要なもの	
手づくり品、お弁当、食べ残しの食品	食品衛生の観点から、フードドライブ実施団体や提供先が**品質を保証できない**ため
開封されたもの、包装が破損したもの	
賞味期限が1か月または2か月未満のもの ※提供先により異なる	最終的な提供先への配布までに、最低1か月程度の余裕を見ておいておいた方が良いため
アルコール類（料理酒・みりんを除く）	アルコール類は趣向品であり、飲まない人・飲めない人もいるため
びん詰などガラス製容器に入ったもの	運搬の途中で**割れる可能性がある**ため

台東区では令和8年4月より「エコいいね宣言店制度」を開始しました。

エコいいね宣言店になって、

あなたのお店からエコな取り組みを広げていきませんか。

【対象：台東区内にある飲食店・小売店・サービス業・事業所など】

問合せ先

台東区環境清掃部清掃リサイクル課　電話　03-5246-1018